

学部・研究科	教育学部 第一類初等教育教員養成コース（4年）
トビタテ 期	第 5 期
コース	■多様性人材コース
留学計画のタイトル	子どもたちのための画期的な鑑賞活動の実践活動をするための 考え方を得るとともに、日米相互の良さを発信する。
派遣先・地域・機関	アメリカ・ミネソタ州 ミネソタ大学・フリーアートミネソタ（ボランティア団体）
期間	2016年9月1日 ～2017年5月13日（ 9 か月 間）
実践活動の種類	<input type="checkbox"/> インターンシップ（無給） <input type="checkbox"/> インターンシップ（有給） <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 支援企業コラボインターンシップ <input type="checkbox"/> その他_____
留学プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA/USAC <input type="checkbox"/> その他学内プログラム_____ <input type="checkbox"/> その他_____
派遣先機関の見つけ方 コンタクトの取り方	交換留学先の大学にあるボランティアセンターから情報を 教えてもらい、直接団体のホームページから応募しました。
留学した理由	<p>アメリカで行われている美術鑑賞教育を体験し、将来教師になっ たとき日本の初等教育にも生かしたいと思ったからです。</p> <p>また、アメリカ発祥であり日本で発展した図工教具のアートカード を用いた文化交流をアメリカで試行錯誤したかったです。</p> <p>TESOL 等アメリカの大学で盛んな教育も受けてみたいと思っていま した。</p>
留学前体験談 <input type="checkbox"/> 計画作成のコツ <input type="checkbox"/> 面接のコツ	<p>ボランティア先や自分の目標など、すべての事がちぐはぐになら ずに、一つの物語になっているかを意識して計画しました。</p> <p>また、それが自分とどう関わっているのかというところも自分なり に納得できるように掘り下げて考えました。</p> <p>面接では、出来るだけやりたいことのイメージが具体的に伝わる ように、写真や実物を持っていき、面接官の方に伝わるよう工夫し ました。</p>
留学中体験談 <input type="checkbox"/> 成功体験 <input type="checkbox"/> 失敗体験	<p>アートカードなどの、日本の文化を伝えるユニークな教材を持っ ていったことで、現地の小学生や大学生との交流に用い「日本から 持ってきた」と説明することができました。</p> <p>当初留学内容として予定していた美術館でのインターンシップ は落ちてしまいました。自分の留学内容に関わる課外活動を現地で 見つけて、応募して変更手続きを行いました。</p>

<p>留学全体の体験談</p> <p>□トビタテでよかった事</p> <p>□留学前後で変わったこと</p>	<p>トビタテでよかったのは、自分の状態や興味に合わせて自由に留学計画を立てることができる点です。</p> <p>留学前後では、自分が気になると思ったらあの手この手でコンタクトを取ってみて分野を問わず飛び込んでみようとする姿勢が身に付きました。</p>
<p>広大生にひとこと</p>	<p>若くエネルギーがあるときに精一杯挑戦したことってなんでも財産になります。</p> <p>気になったら思い切って挑戦してみてもいいでしょう。</p>

ミネアポリス美術館にて



アートカードを用いたイベントの様子

